

瀧和亭《竹に闘鶏図》

明治二十二年（一八八九）
絹本着色
本紙一四二・二 × 五七・四

闘鶏と言えば、闘争用に品種改良されたシャモ同士を戦わせる遊戯が思い浮かぶが、本図では、鶏冠や嘴下の肉髯が大きく蹴爪もそれほど発達していないところから、シャモではなく古くから日本に生息する品種と思われるニワトリが、自然の中で繰り広げる戦いが描かれている。元来、シャモに限らずニワトリの雄は強い闘争本能を持っており、縄張りを

めぐってしばしば激しい戦いを繰り広げる。ここでは飛び上がった一羽が上空から鋭い爪で相手を狙い、対するもう一羽は低く身をかがめ、地面を力強く踏みしめて下から迎え撃つ体勢をとる。花鳥画をよくした瀧和亭（一八三〇～一九〇二）の中でも、とりわけ躍動感を感じさせる力作である。明治二十二年の日本美術協会展覧会において御買上となった作品。



- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

鳥の楽園 ― 多彩、多様な美の表現

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 68

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成二十七年三月二十一日発行

© 2015, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonaru Shozokan